

りょう かん

没後190年記念 良寛さんーその人と書

Ryōkan, the Man and his Calligraphy

令和元年(2019)11月16日 (土) ～ 令和2年(2020)1月31日 (金)

主催：徳川美術館・毎日新聞社
《後援》全国良寛会

「良寛さん」と呼ばれ、今も多くの人々に愛され続ける良寛(1758～1831)は、名利にとらわれぬ生活を送った托鉢僧でした。清貧の中で生きとし生けるものに慈愛の心を注ぎ、子どもらと手まりをついて戯れ、友と語り、和歌や漢詩など芸術にいそしみました。また、仏教者としても菩薩行を実践した稀有な人でした。その人間性を表出した書は、見る者の心にあたたかさと感動を与えてくれます。

本展では、日本有数の良寛コレクター秘蔵の遺墨を中心に、新たにそのコレクションに加えられた49件を含む156件を公開します。その書と芸術に触れていただく絶好の機会となります。

- [凡例]・前期:2019/11/16(土)～12/15(日) 後期：2020/1/4(土)～1/31(金)
- 都合により出品作品が変更となる場合がございます。
 - 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
 - 筆者名がない作品はすべて良寛筆です。
 - 出陳作品はすべて個人蔵です。
 - 「図録掲載」は本展覧会図録「良寛さんーその人と書」掲載作品を示します。

No.	作品名・筆者	時代	世紀	展示期間	図録掲載
1、良寛のふるさと 出雲崎					
1	良寛賛 橘以南筆 松尾芭蕉像 是翁以前無是翁	江戸	19世紀	前期	○
2	橘以南筆 松尾芭蕉像画賛 かれえだに	江戸	18世紀	後期	○
3	和歌二首 いにしへに	江戸	19世紀		○
4	扇面 和歌 きてみれば	江戸	19世紀		
5	相馬御風筆 短冊 日野資朝卿の和歌	大正-昭和	20世紀		
参考1	佐渡の金山図(『越後摘誌』)				
6	書簡 由之宛 あさもよし	江戸	文政11年<1828>	前期	○
7	山本由之 書簡 良寛宛 尊書奉拝見候	江戸	文政12年<1829>	前期	
8	山本由之 書簡 良寛宛 本文に	江戸	19世紀	後期	
9	書簡 とやま氏宛 此あハセ	江戸	18-19世紀	前期	
10	書簡 浄玄寺宛 阿弥陀経一卷	江戸	19世紀	後期	
11	書簡 馬之助宛 ちまきたまはり	江戸	19世紀	前期	
12	書簡 外山氏宛 さむさに	江戸	18-19世紀	後期	
13	書簡 本寿上人宛 御帟面辱拝見	江戸	19世紀	後期	
2、円通寺修行時代懐古					
14	国仙和尚筆 龍	江戸	18世紀		○
15	自画賛 良寛像 是此誰	江戸	19世紀		○
16	漢詩 憶在円通時	江戸	19世紀		
17	漢詩 伊勢道中苦雨作	江戸	19世紀		
18	西垣伴左作 良寛坐像	昭和	20世紀		
参考2	吉野の花筐				
19	漢詩 仙桂和尚真道者	江戸	19世紀		○
20	一行 漢詩 知音更有	江戸	19世紀		
21	漢詩三篇 重游善光寺	江戸	19世紀		
22	漢詩 従出白蓮精舎會	江戸	19世紀		
参考3	大忍魯仙『無礙集』	江戸			

3、五合庵時代

23	漢詩	家有寒山詩	江戸	19世紀		
24	漢詩	今日乞食逢驟雨	江戸	19世紀	前期	
25	漢詩	今日乞食驟雨	江戸	19世紀	後期	
26	自画賛	あきびより	江戸	18-19世紀		
27	漢詩	冥目千嶂夕	江戸	19世紀		
28	自画賛	林暗	江戸	18-19世紀		
29	和歌	ふるてらに	江戸	19世紀		
30	書簡	解良叔問宛 先日 はてぬごひ	江戸	19世紀	前期	○
31	書簡	阿部定珍宛 去冬は	江戸	19世紀	後期	○
32	漢詩一篇	和歌一首 托鉢来此地	江戸	19世紀		
33	書簡	斎藤源右衛門宛 釈是人	江戸	文化5年<1808>		○
34	良寛所持	鉢の子	江戸	18-19世紀		○
35	相馬御風筆	鉢の子箱書 はちの子を	昭和	20世紀		
36	漢詩二篇	自参曹溪道	江戸	19世紀		
37	書簡	宛不明 一此一冊	江戸	19世紀	前期	○
38	偈語	道者元偈 無言転虚機	江戸	19世紀	後期	
39	卷子	和歌二首 漢詩一篇 きてみれば	江戸	19世紀		
40	茂木弘次作	良寛と雀	昭和-平成	20-21世紀		○
41	和歌	このみやの	江戸	19世紀		
42	良寛・蘭甫唱和	和歌五首 他	江戸	18世紀	後期	
43	和歌四首	わたつみの	江戸	19世紀	後期	
44	漢詩	城中乞食了	江戸	19世紀		
45	漢詩双幅	余家有竹林	江戸	19世紀	前期	
46	漢詩双幅	生涯懶立身	江戸	19世紀	後期	
47	漢詩二篇	和歌一首 縦讀洄沙書	江戸	18-19世紀		

4、子どもらと遊ぶ

48	自画賛	良寛像 袖裏繡毬直千金	江戸	19世紀		○
49	書簡	小林正左衛門宛 御紙面	江戸	19世紀		○
50	漢詩	裙子短褊衫長	江戸	19世紀	前期	
51	漢詩	裙子短褊衫長	江戸	19世紀	後期	
52	五十嵐華亭筆	良寛像 良寛和歌 このみやの	江戸	19世紀		○
53	横三字	思無邪	江戸	19世紀	前期	
54	漢詩	袖裏毬子直千金	江戸	19世紀	後期	
55	和歌二首	このみやの	江戸	19世紀		○
参考4	手まり					
56	和歌	いざこども	江戸	19世紀		
57	和歌	こどもらと 他	江戸	19世紀		○
58	扇面	漢詩 十字街頭乞食了	江戸	19世紀		
59	茂木弘次作	良寛上人像		昭和18年<1943>		

5、乙子神社時代

60	原田鵲斎	長歌 あしひきの	江戸	19世紀		
61	和歌	こゝちあしくて	江戸	19世紀		
62	漢詩	生涯懶立身	江戸	19世紀		
63	書簡	宛不明 此秋は	江戸	19世紀		
64	書簡	宛不明 先日は	江戸	19世紀		
65	書簡	維馨尼宛 先日は久々にて	江戸	19世紀	前期	
66	書簡	阿部定珍宛 今日	江戸	19世紀	後期	
67	漢詩	平生酌酒意	江戸	19世紀	後期	○
68	書簡	三輪権平宛 寒天の節	江戸	19世紀	前期	○
69	書簡	解良氏宛 先日草庵へ	江戸	19世紀	後期	

No.	作品名・筆者	時代	世紀	展示期間	図録掲載
70	書簡 宛不明 雪の中	江戸	19世紀	前期	○
71	書簡 解良孫右衛門宛 御年始恭受	江戸	文政3-4年<1821-22>頃	前期	○
72	漢詩 寄まがりの盲人	江戸	19世紀	後期	
73	画賛 橘崑崙筆 秤の鼠図 家有猫与鼠	江戸	19世紀	前期	○
74	画賛 狩野玉元筆 寒山拾得図 拾得手中箒	江戸	19世紀	後期	
75	画賛 春木南湖筆 竹の子図 すずしさを	江戸	19世紀	前期	
76	自画賛 髑髏図 けふこそ	江戸	19世紀	後期	
77	漢詩 中秋歩月	江戸	19世紀		
78	漢詩 老病竟来不能寝	江戸	19世紀		○

6、書の世界

79	和歌『秋萩帖』臨書 あきはぎの	江戸	19世紀		○
参考5	『秋萩帖』				
80	漢詩一篇 和歌一首 肅々天気寒	江戸	19世紀		○
81	短冊 和歌 あききぬと	江戸	19世紀		
82	短冊 和歌 しらゆきは	江戸	19世紀		○
83	神号 天満大自在天神	江戸	19世紀	前期	○
84	和歌 みみづらに	江戸	19世紀	後期	
参考6	懷素 『自叙帖』				
参考7	懷素 『千字文』				
85	漢詩 誰家不喫飯	江戸	19世紀	前期	
86	漢詩 柳娘二八歳	江戸	19世紀	後期	
87	一行 巖根欲穿	江戸	19世紀	前期	○
88	一行 君看双眼色	江戸	19世紀	後期	
89	六曲屏風半双 漢詩 春夜醒来	江戸	19世紀	後期	
90	六曲屏風半双 漢詩 日々日々	江戸	19世紀	後期	
91	六曲屏風一双 漢詩 八月初一日	江戸	19世紀	前期	○
92	神秀偈並和歌 菩提本如樹	江戸	文政13年<1830>		
93	書簡 宛不明 あはせのせんたく	江戸	19世紀		
94	書簡 了阿宛 今日ハ	江戸	文政8-9年<1825-26>頃		○
95	書簡 鳥井直右衛門宛 澄清堂の臨書	江戸	文化11-14年<1814-17>頃		
参考8	王羲之 『澄清堂帖』				
参考9	孫過庭 『書譜』				
96	書簡 祥二宛 今日ハ御相承大慶	江戸	19世紀		○
97	短冊 和歌 もみぢばの	江戸	18-19世紀		
98	短冊 和歌 かはずなく	江戸	19世紀		
99	扇面 漢詩 今日乞食	江戸	19世紀		
100	横二字 一閑	江戸	19世紀	前期	
101	經典 般若心經	江戸	19世紀	後期	

7、菩薩行の実践

102	漢詩 釈尊出家讃 見老病死	江戸	19世紀		○
103	漢詩 八月初一日	江戸	19世紀		
104	和歌 みほとけの	江戸	19世紀		
105	扇面 和歌 わがそでは	江戸	19世紀		○
106	短冊 和歌 すみぞめの	江戸	19世紀		
107	偈頌等 石頭和尚曰	江戸	19世紀		
108	戒語（一） みゝにくちつけて	江戸	19世紀		
109	戒語（二） ものいひの	江戸	19世紀		
110	戒語（三） ねだんつけ	江戸	19世紀		
111	自画賛 良寛像 四月朱明節	江戸	19世紀		○
112	偈『正法眼蔵』 「袈裟功德」	江戸	19世紀		
113	經典 十大願	江戸	19世紀		○

No.	作品名・筆者	時代	世紀	展示期間	図録掲載
8、季節とともに					
114	和歌二首 わがやどの	江戸	19世紀	前期	○
115	書簡 入軽ゐ六右衛門宛 昨日濁酒一樽	江戸	文政12年<1829>	後期	
116	書簡 山田杜皐 年内そうめん	江戸	文政12-13年<1829-30>		
117	漢詩 柳娘二八歳	江戸	19世紀		
118	短冊 俳諧 はるさめや 静かに	江戸	19世紀		
119	短冊 俳諧 はるさめや	江戸	19世紀		
120	書簡 宛不明 此春は	江戸	文政13年<1830>頃		
121	漢詩 窮谷有佳人	江戸	19世紀	後期	
122	扇面 和歌 ひさかたの	江戸	19世紀	後期	
123	書簡 由之宛 ひさしく	江戸	19世紀	前期	○
124	和歌 あをやまの	江戸	19世紀		
125	和歌一首 俳諧三句 肱夢老人の	江戸	19世紀	後期	○
126	漢詩 贈鼎齋子兼寄叔問老	江戸	19世紀	前期	
127	俳諧 蚊屋とりて	江戸	19世紀	前期	
128	大短冊 あきびより	江戸	19世紀	後期	
129	短冊 和歌 はぎのはな	江戸	19世紀	前期	
130	短冊 和歌 あきのよは	江戸	19世紀	後期	
131	短冊 和歌 あきのよの	江戸	19世紀	前期	
132	漢詩 揚簾又此簾	江戸	19世紀	後期	
133	書簡 半僧老宛 先日海松たまはり	江戸	文政12年<1829>頃	前期	
134	漢詩 寒冬十一月	江戸	19世紀	後期	○
135	書簡 三輪権平宛 わがために	江戸	19世紀	前期	
136	書簡 正貞宛 僧も此冬は	江戸	19世紀	後期	

9、島崎時代

137	和歌 うつしみの	江戸	文政9年<1826>		
138	書簡 定珍宛 野僧も	江戸	文政9年<1826>		
139	書簡 宛不明 如来意	江戸	19世紀	前期	○
140	和歌二首 よもすがら	江戸	19世紀	後期	○
参考10	三条地震絵図（『徴震愷鑑』）				
141	漢詩 地震後詩	江戸	文政11-天保元年<1828-30>		○
142	漢詩 聴於香積山有無縁法事随喜作	江戸	文政12年<1829>		
143	書簡 三輪権平宛 こたび	江戸	文政12年<1829>		○
144	書簡 およしさ宛 めのこー	江戸	19世紀		○
145	和歌 貞心尼に代てよめる	江戸	文政11年<1828>	前期	○
146	書簡 由之宛 ありそみの	江戸	文政12年<1829>		○
147	和歌 あまひとの	江戸	文政13年<1830>	後期	
148	書簡 関川万助宛 残暑甚罷成候	江戸	文政13年<1830>	前期	
149	枡澤清作 良寛禅師铸像		昭和2年<1927>		
150	書簡 貞心尼宛 先日は眼病の	江戸	文政13年<1830>	後期	○
151	書簡 山田杜皐宛 今日□人たまはり	江戸	天保元年<1830>		
152	漢詩 草庵雪夜作	江戸	天保元年<1830>		○
参考11	貞心尼編 『はちすの露』				
153	漢詩対句 雁無形移像思	江戸	19世紀		
154	和歌三首 ながつきの	江戸	文政10年<1827>	前期	
155	和歌三首 わがこころ	江戸	文政13年<1830>	後期	
156	和歌三首 てもたゆく	江戸	文政13年<1830>	後期	

以上

徳川美術館

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL 052-935-6262

<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>